

# 物や時間「シェア」広がる

観光地やイベント会場周辺で混み合う駐車場。「軒先」(東京都千代田区)が運営する「軒先パーキング」を利用すると、駐車場を事前予約できる。提供する駐車場は、登録者の自宅などの空いた駐車スペース。同社の西浦明子社長は「使わない時間だけ貸して、借りる側も並ばなくて済むのがメリット」と語る。

車の相乗りサービス「notteco」(のつてこ) (千代田区)は、ドライバーが発着地などを登録し、同乗したい人と交渉。成立すれば、ガソリン代や高速道路料金を割り勘する。

すっきり晴れた7月の週末。川崎市の畑でスイカを手入れる親

## 駐車場、畑、ペット預かり…

インターネットを通じ、余った物や時間を他人に提供し、共有するシェアリングサービス。最近では空き家や車のシェアだけでなく、自宅の駐車場や畑の共有など幅広い。夏休みにはさまざまな場面で利用する機会がありそうだ。

## 安全確保へ政府認証導入



シェア畑でスイカを手入れる親子  
＝川崎市中原区

子の姿があった。別の家族は同じ畑で枝豆を収穫。ここでは、一つの畑を利用者で分け合い、それぞれの区画で好きな野菜を育てる。春に植え付けまで済ませた区画もあり、夏休みからの利用で夏野菜の収穫が楽しめる。シェアリングは、ペット



自分のペットと預かった犬を自宅で世話するシッター  
＝東京都世田谷区

ト業界にも広がる。犬を預けたい飼い主と個人のシッターをつなぐサービスを展開する「Dog Hug」(ドッグハグ) (目黒区)。飼育経験や家の広さのほか、「命を預かるからこそ人柄なども考慮」(長塚翔吾社

長)してシッターを審査する。同社は、ペットが物を壊したり、第三者を傷つけたりした場合に備え、東京海上日動火災保険(千代田区)などが提供するシェアリングサービス専用の賠償

責任保険に加入。ただ、シッターがけまれるなどのトラブルは適用外で、保険の整備は課題だ。

サービスの広がりを受け、シェアリング事業者らの団体「シェアリングエコノミー協会」(千代田区)は政府と共同で、安全な利用システムを構築している事業者の認証制度を導入。協会担当者は「事業者はサービス利用者の評価を公開していることで、判断材料にしてほしい」と話している。